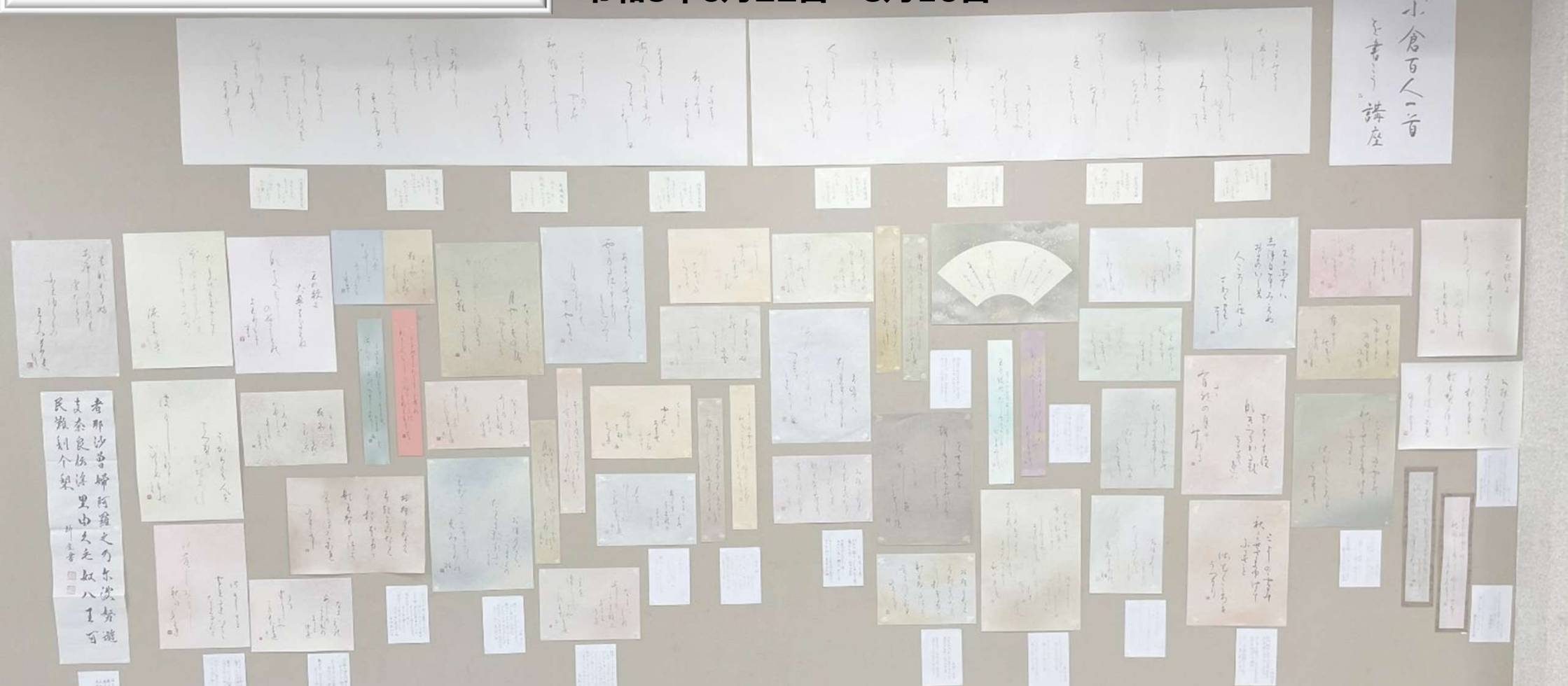


こみはギャラリー

令和8年6月22日～8月10日

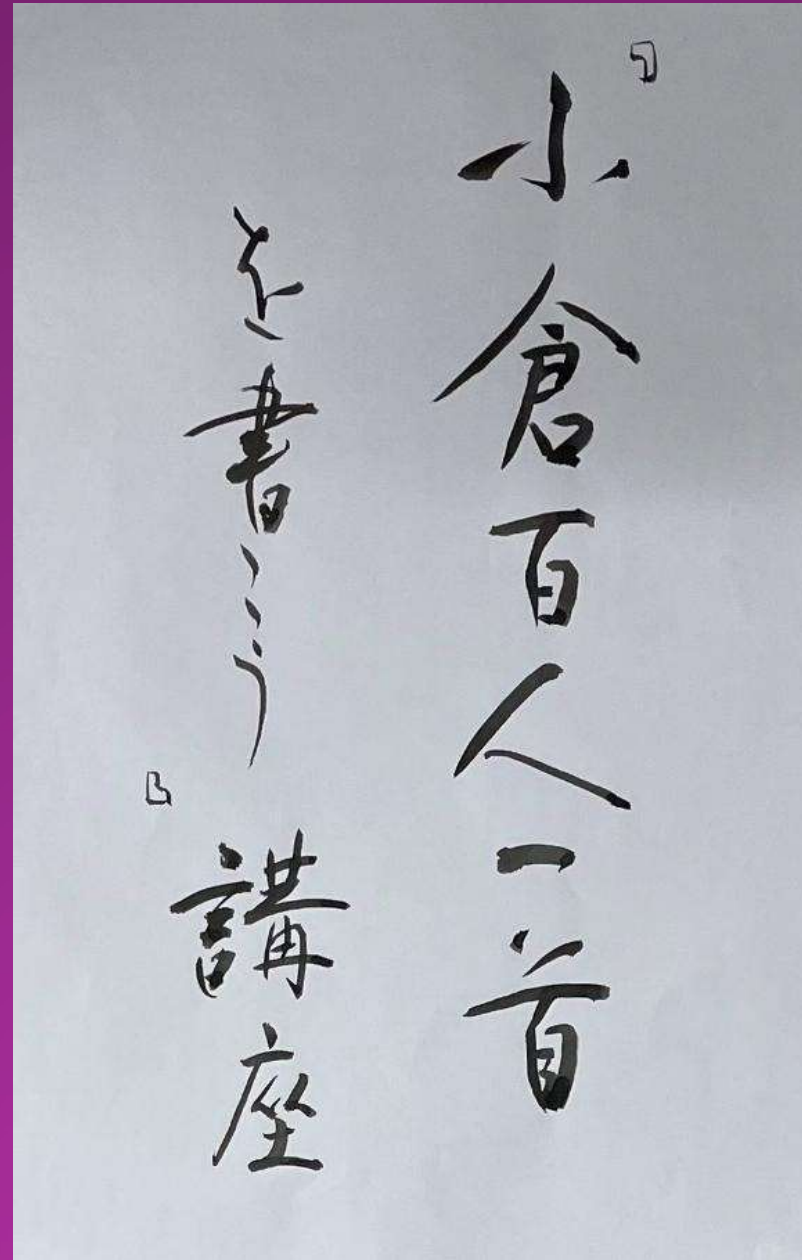


洋四小コミュニティハウス自主事業

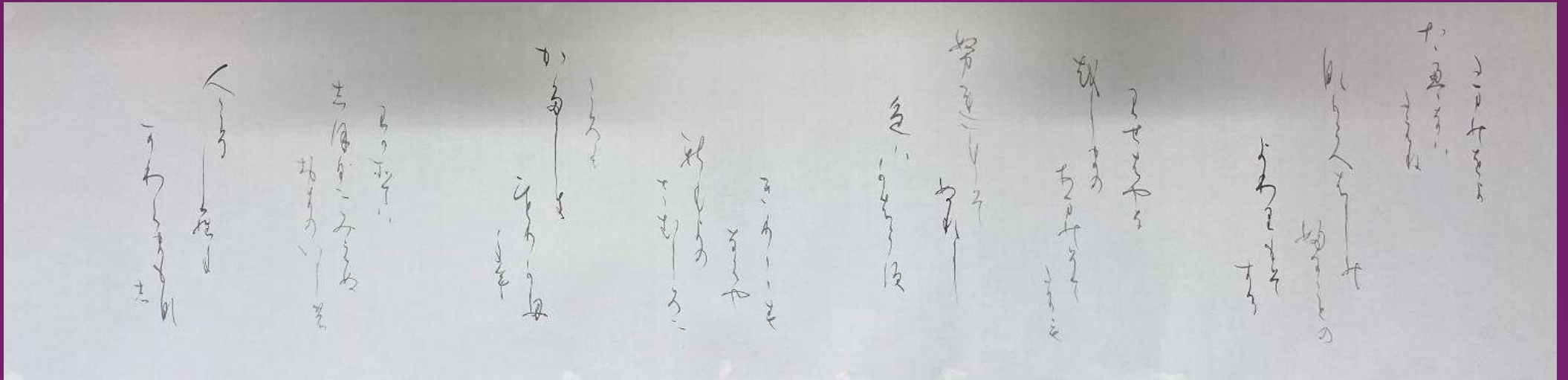
「小倉百人一首を書こう」

当館の仮名文字講座「小倉百人一首を書こう」の受講者作品を飾りました。
是非ご来館いただき、素敵な作品をご覧ください。

講師作品



講師作品



式子内親王

たまのをよ
たえなば
たえね

ながらばしの
ぶることの
よわりもぞ
する

殷富門院大輔

見せばやな
をしま
あまのそで
だにも

ぬれにぞ
ぬれし
色は
かはらず

後京極摂政前太政大臣 良経

きりぎりす
なくや
しもよの
さむしろに

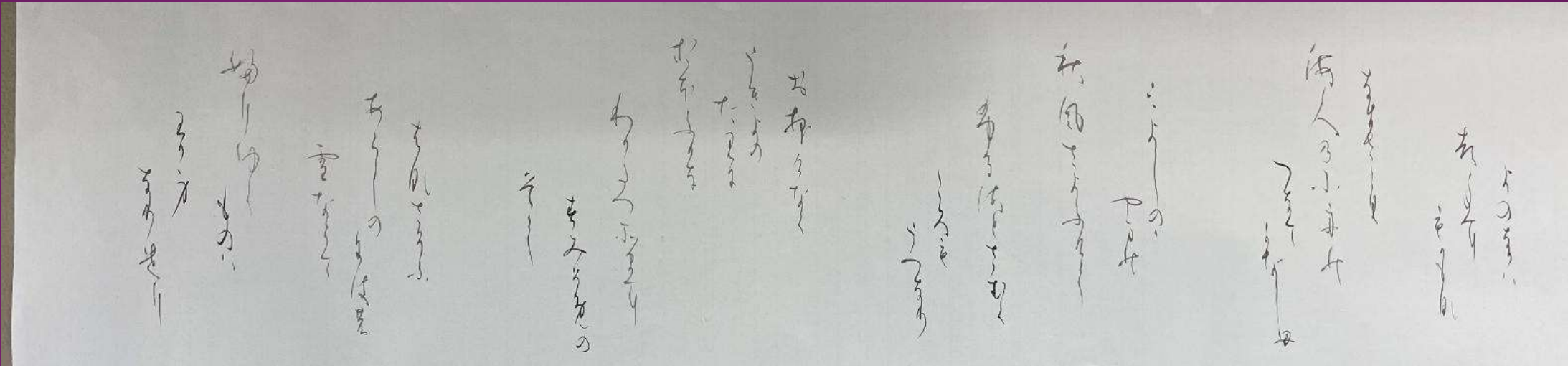
ころも
かたしき
ひとりかも
ねむ

二条院讃岐

わがそでは
しほひにみえぬ
おきのいしの

人こそ
しらね
かわくまもな
し

講師作品



鎌倉右大臣 実朝

よのなかは
つねに
もがもな

なぎさきこぐ
海人の小舟の
つなで

かなしも

参議雅経

みよしの、
やまの
秋風さよふけて

ふるさとさむく
ころも
うなり

前大僧正慈円

おほけなく
うきよの
たみに
おほふかな

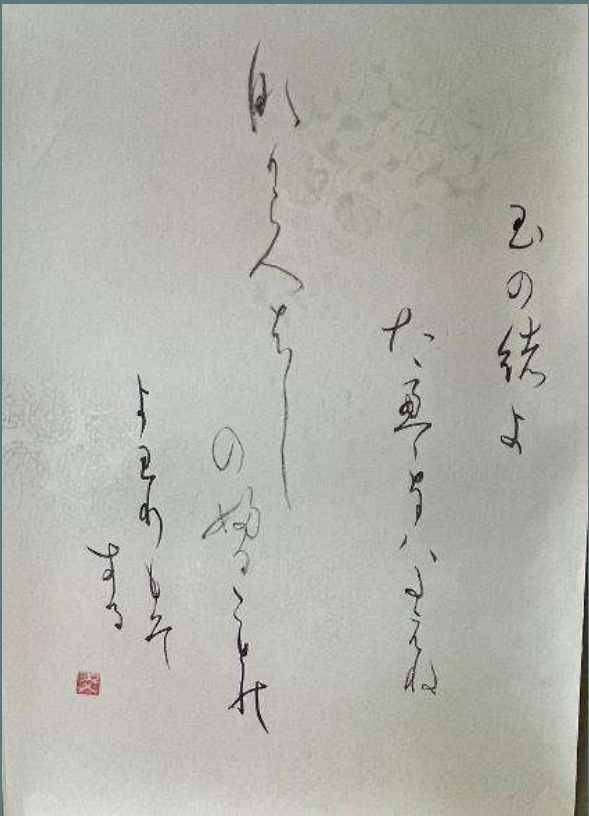
わがちこそまに
すみぞめの
そで

入道前太政大臣 公経

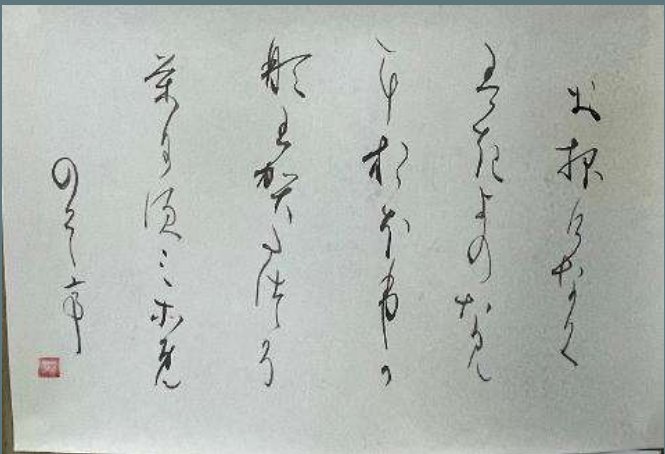
はなささふ
あらしの
にはの
雪ならぞ

ふりゆく
ものは
わが身
なりけり

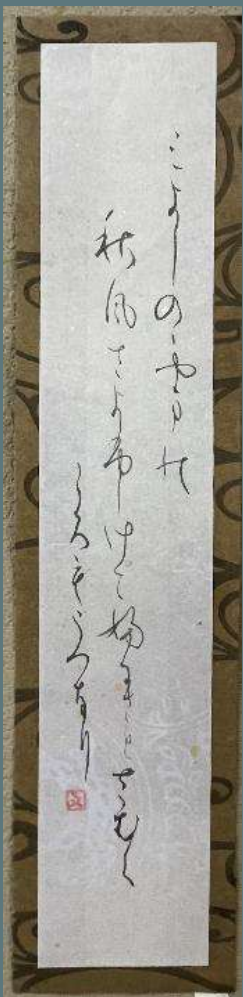
受講者作品①



式子内親王
 たまのをよ
 たえなばたえね
 ながらば
 しのぶることの
 よわりもぞする



前大僧正慈円
 おほけなく
 うきよのたみに
 おほふかな
 わがちそまに
 すみぞめのそで

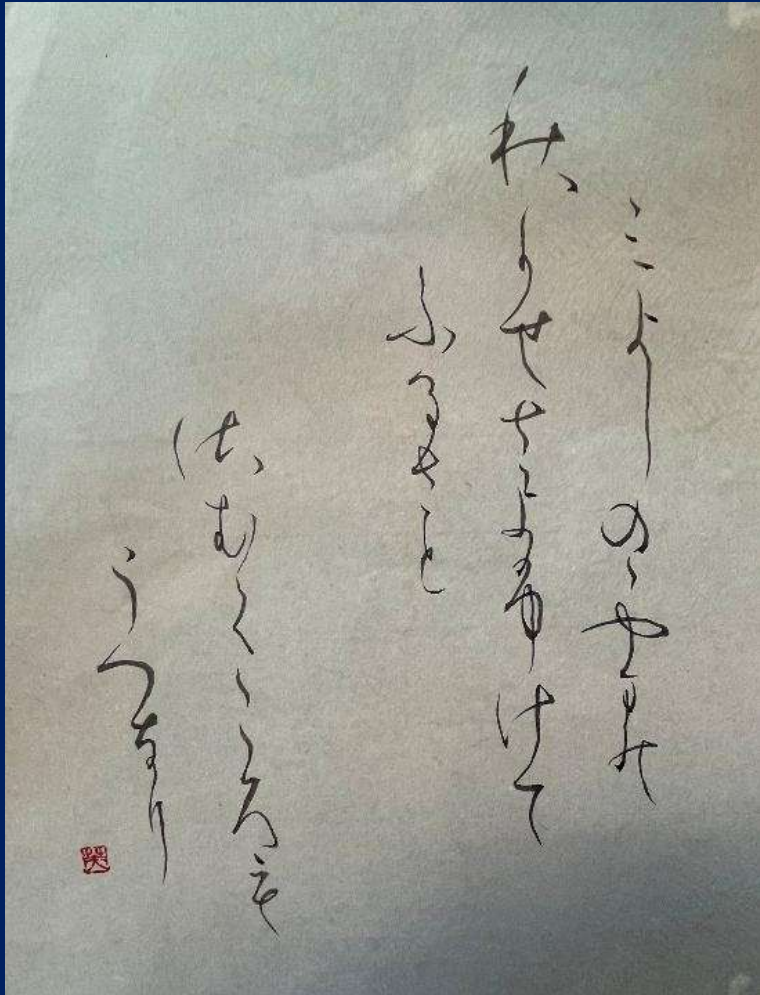


参議雅経
 みよしの、
 やまの秋風
 さよふけて
 ふるさとさむく
 ころもうつなり

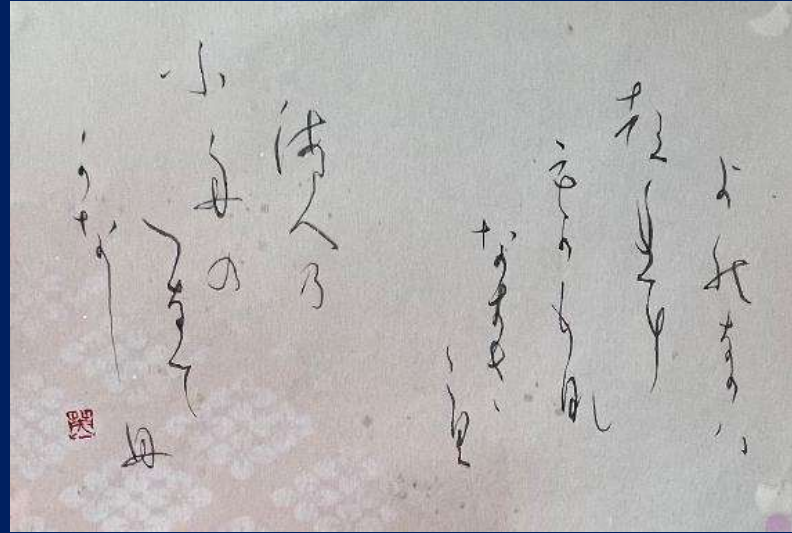


鎌倉右大臣実朝
 よのなかは
 つねにもがもな
 なぎさみこぐ
 海人の小舟の
 つなでかなしも

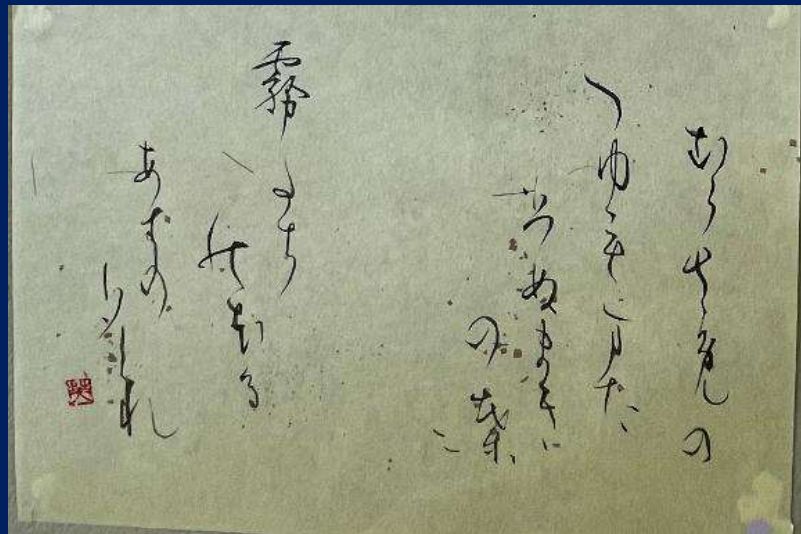
受講者作品②



参議雅経
 みよしのの
 やまの秋風
 さよふけて
 ふるさとさむく
 ころもうつなり



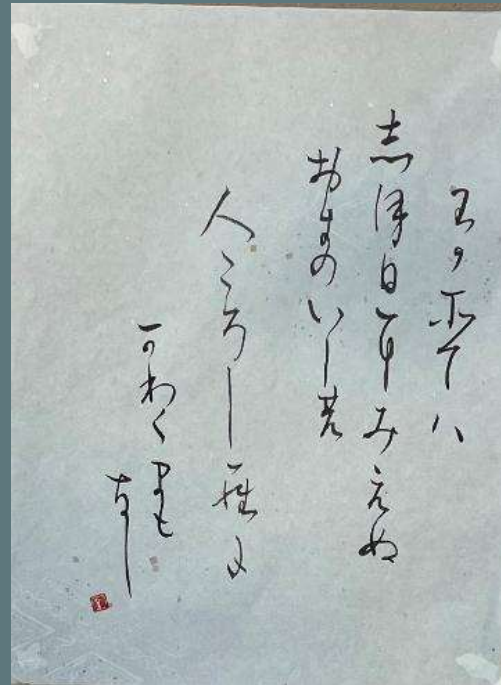
鎌倉右大臣実朝
 よのなかは
 つねにもがもな
 なぎさこぐ
 海人の小舟の
 つなでかなしも



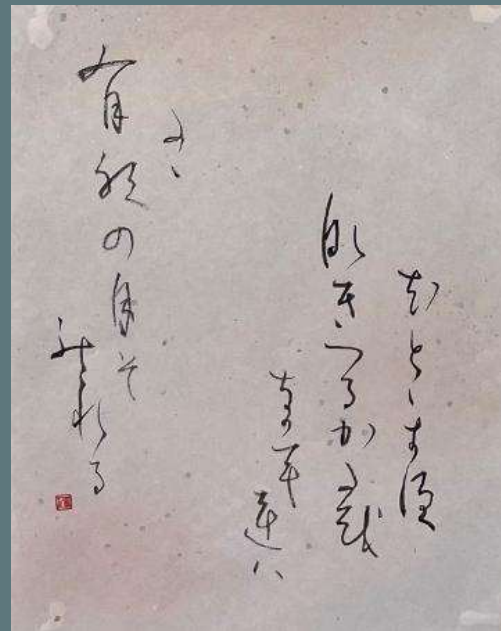
寂蓮法師
 おらさめの
 つゆもまだひぬ
 まきの葉に
 霧たちおぼる
 あきのゆうぐれ

受講者作品③

二条院讃岐
わがそでは
しほひにみえぬ
おきのいしの
人こそしらね
かわくまもなし

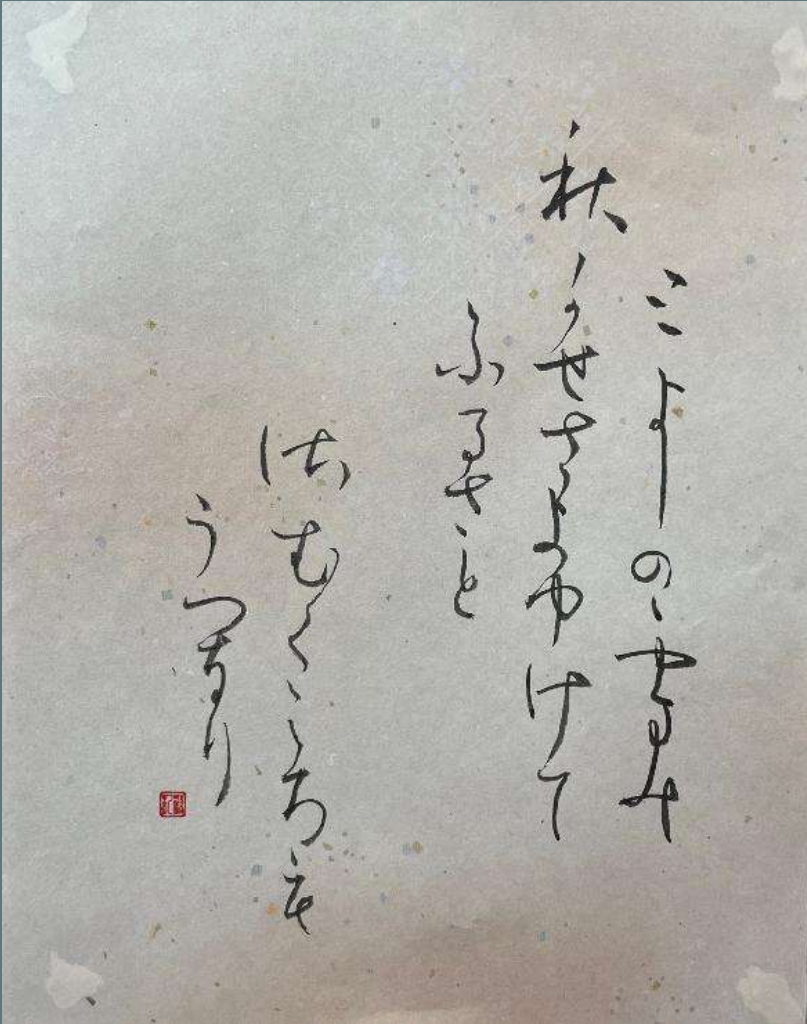


後徳大寺左大臣
ほととぎす
鳴きつるかたを
ながおれば
ただ有明の
月ぞ残れる



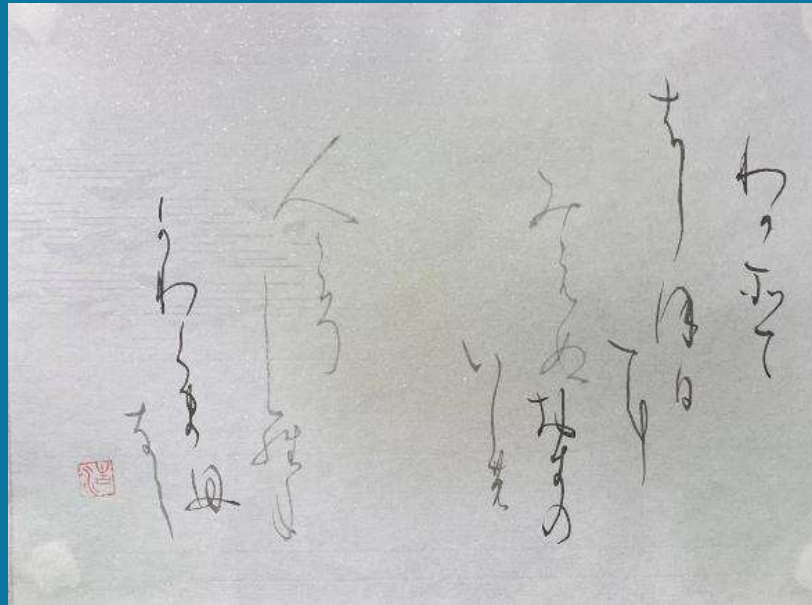
みよしのの
やまの秋風
さよふけて
ふるさとさむく
ころもうつなり

参議雅経
みよしのの
やまの秋風
さよふけて
ふるさとさむく
ころもうつなり

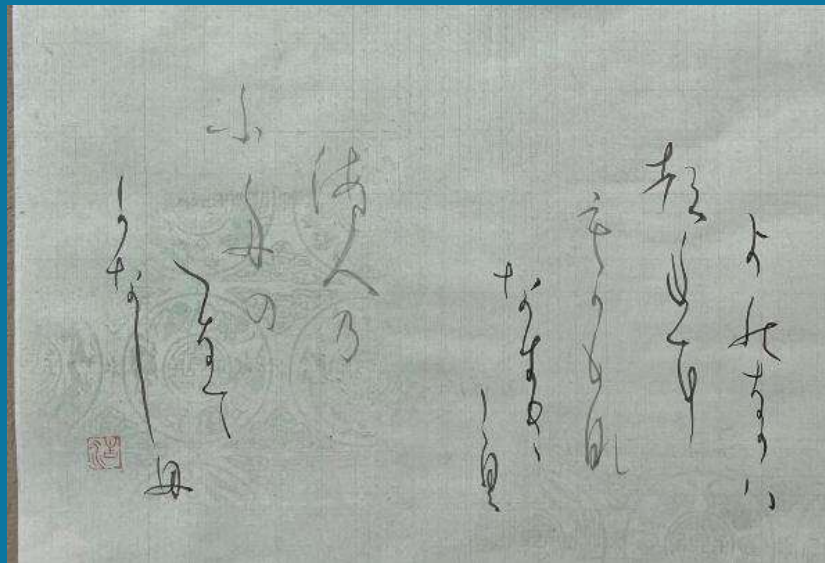


受講者作品④

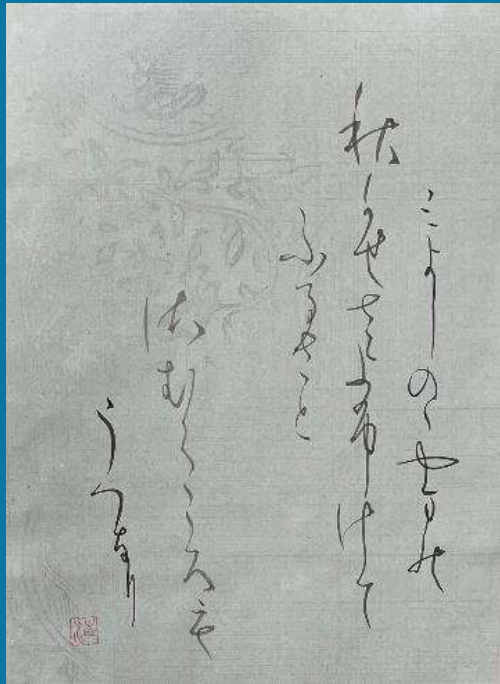
二条院讃岐
わがそでは
しほひにみえぬ
おきのいしの
人こそしらね
かわくまもなし



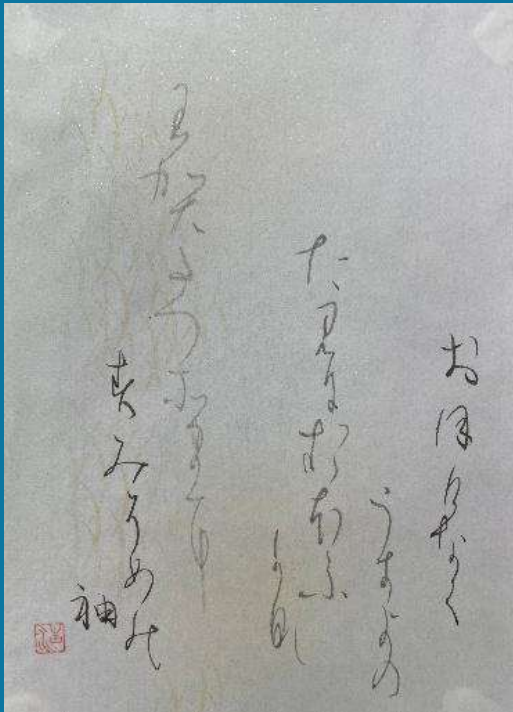
鎌倉右大臣実朝
よのなかは
つねにもがもな
なぎさこぐ
海人の小舟の
つなでかなしも



参議雅経
みよしのの
やまの秋風
さよふけて
ふるさとさむく
ころもうなり

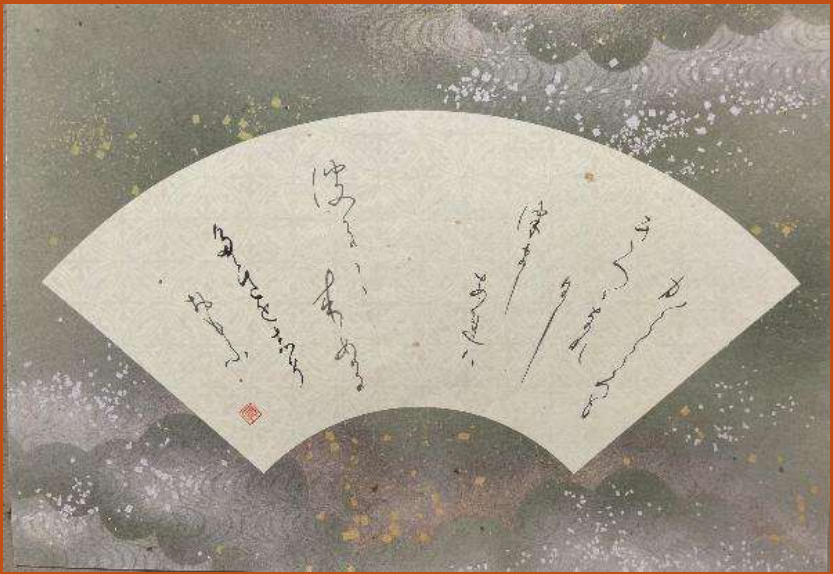


前大僧正慈円
おほけなく
うきよのたみに
おほふかな
わがちそまに
すみぞめのそで



受講者作品⑤

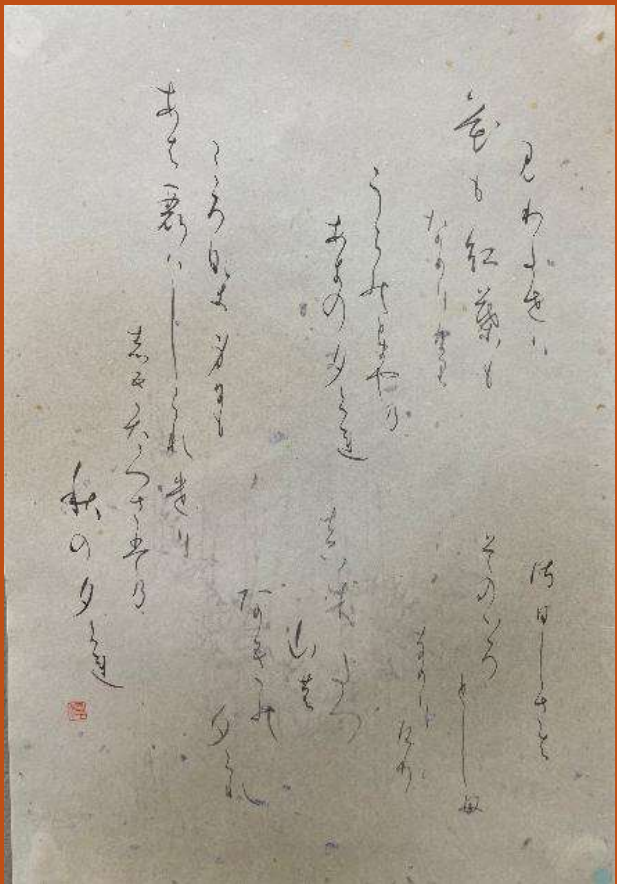
在原業平
 からころも
 着つなれにし
 妻しあれば
 はるばる来ぬる
 旅をしぞ思ひ



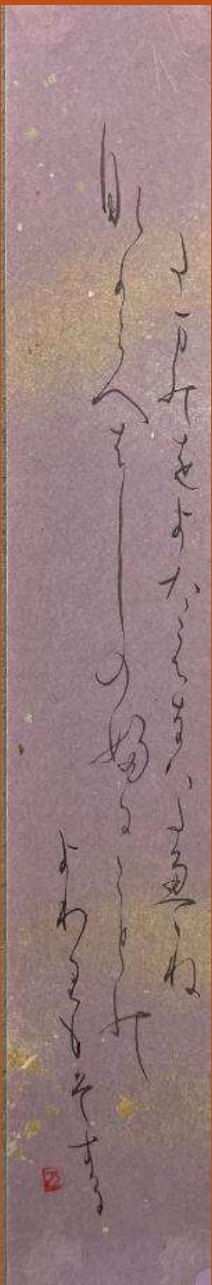
藤原定家
 見わたせば
 花も紅葉も
 なかりけり
 浦の苫屋の
 秋の夕暮

寂蓮法師
 寂しきは
 その色としも
 なかりけり
 槇立 山の
 秋の夕暮

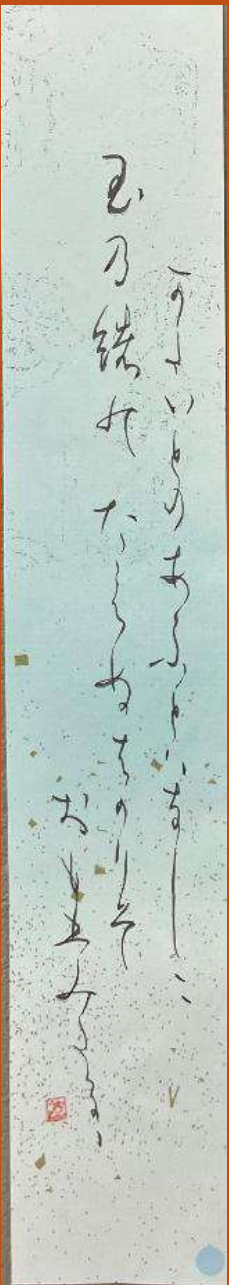
西行
 心なき身にもあはれは知られけり
 鴨立 沢の秋の夕暮



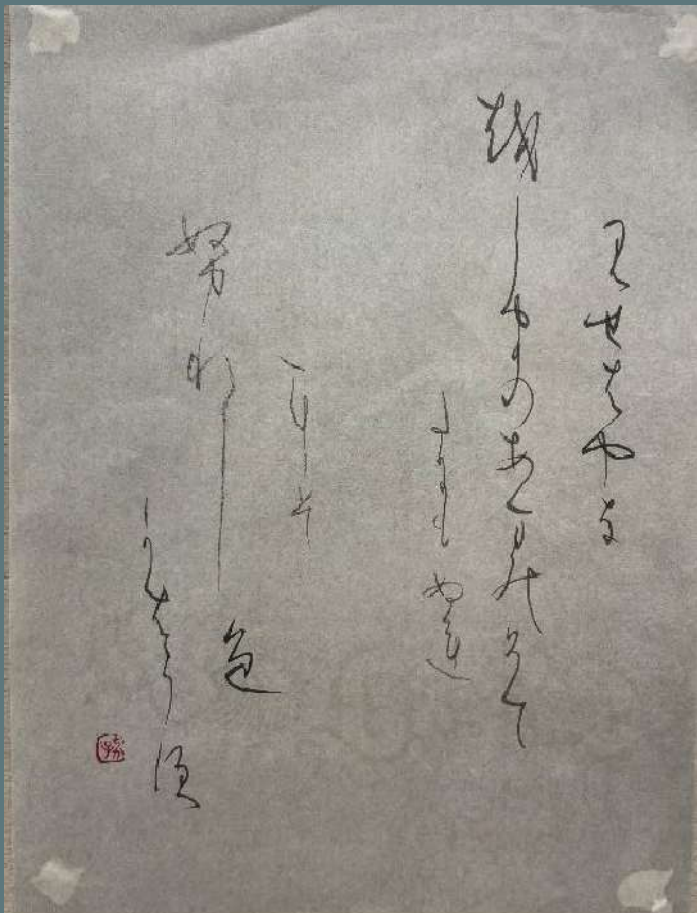
式子内親王
 玉の緒よ たえなばたえね ながらば
 しのぶることの よわりもぞする



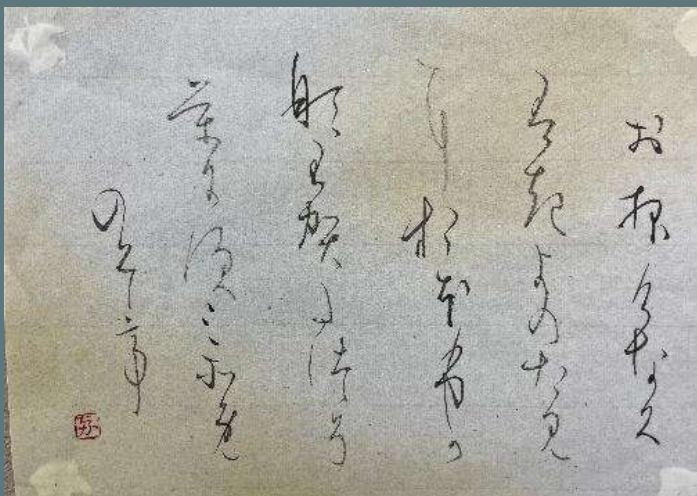
藤原定家
 かた糸の 逢ふとは無しに 玉の 緒の
 絶えぬばかりぞ 思ひ乱るる



受講者作品⑥



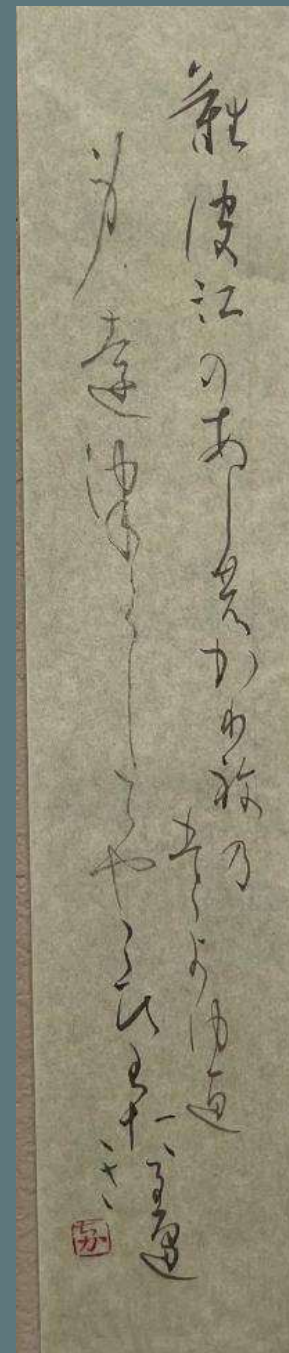
見せばやな 雄じまの あまの そでだにも
ぬれにぞぬれし 色はかはらず
殷富門院大輔



おほけなく うきよの たみに
おほふかな わがたちそまに
すみぞめのそで
前大僧正慈円



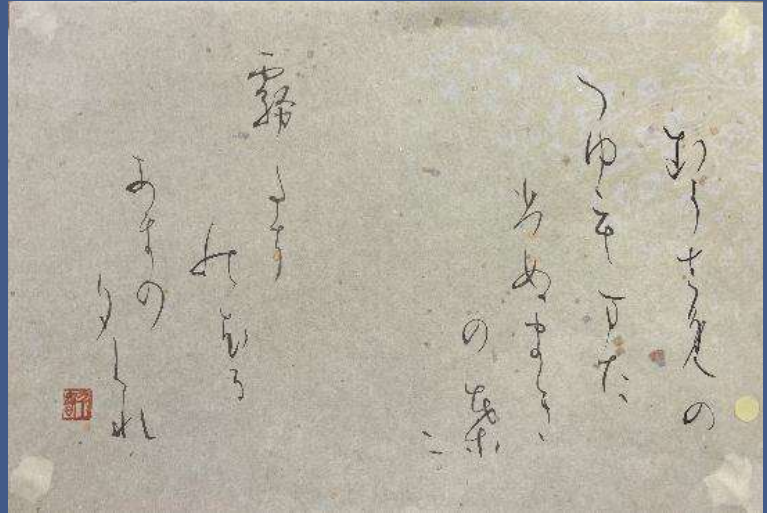
わがそでは しほひにみえぬ おきのいしの
へこそしらね かわくまもなし
二条院讚岐



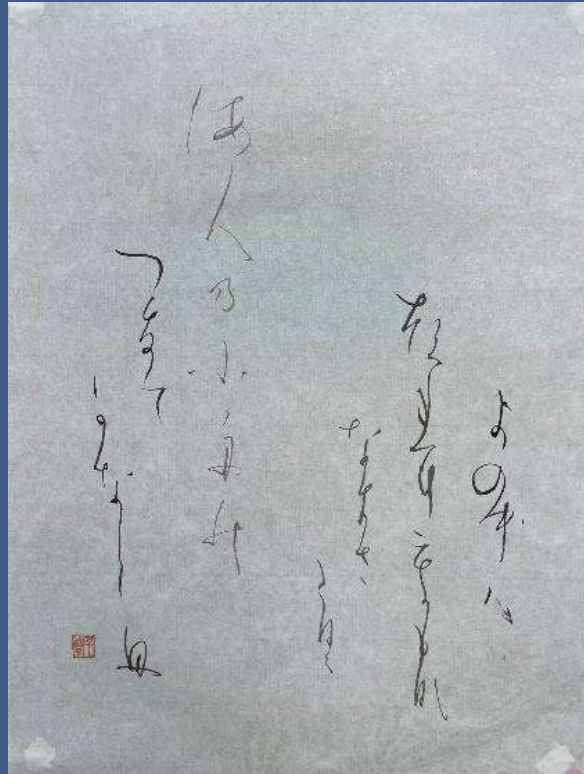
難波江の あらむかみゆの ひとよゆゑ
みるくしてや こひわたるべき
皇嘉門院別当

受講者作品⑦

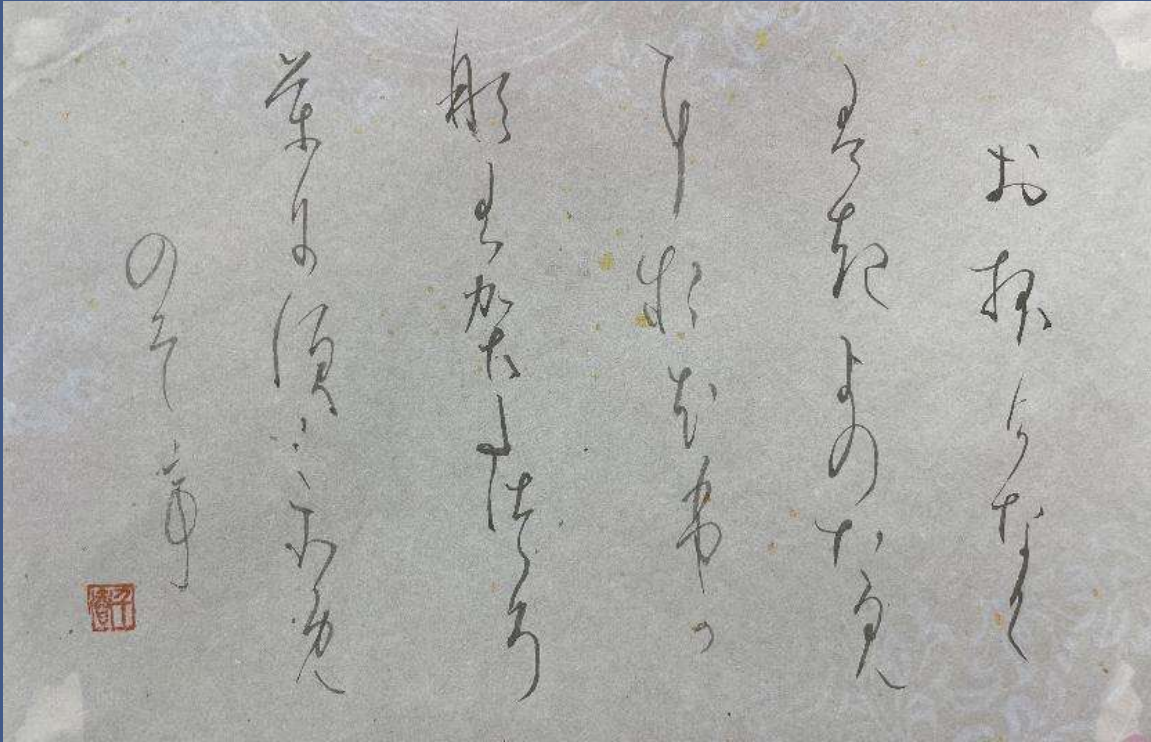
寂蓮法師
 むらさめのつゆもまだひぬ まきの葉に
 霧たちのぼる あきのゆうぐれ



鎌倉右大臣実朝
 よのなかは
 つねにもがもな
 なぎさこぐ
 海人の小舟の
 つなでかなしも



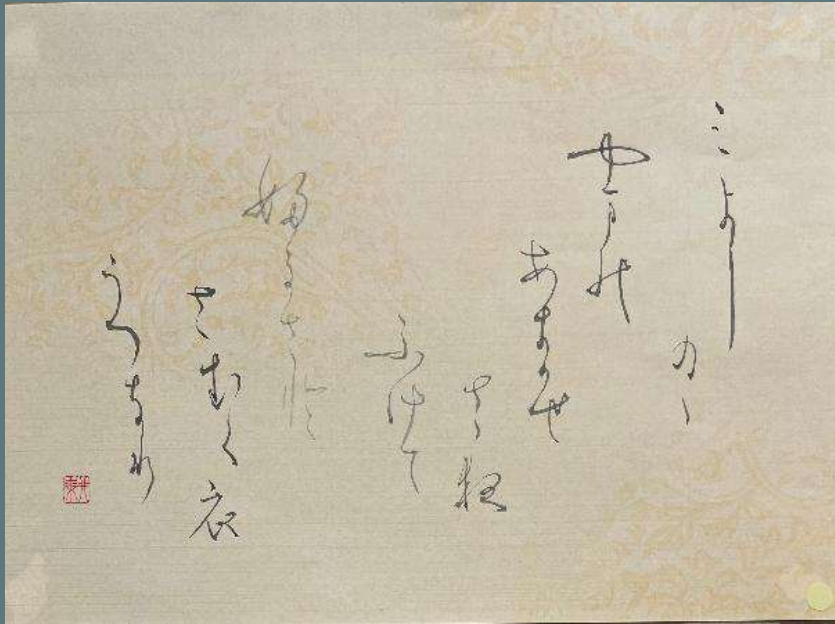
前大僧正慈円
 おほけなく
 うきよのたみに
 おほふかな
 わがちそまに
 すみぞめのそで



受講者作品⑧

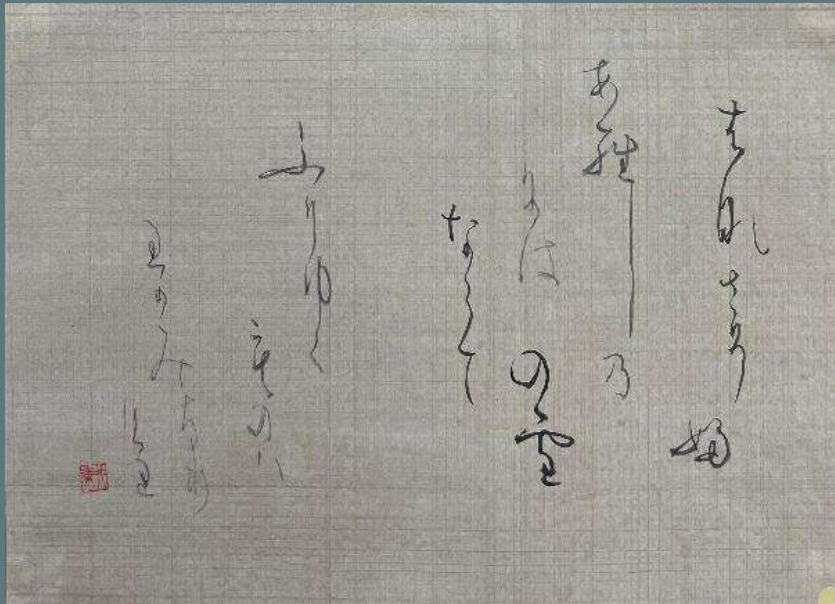
参議雅経

みよしのの
やまの秋風
さよふけて
ふるさとさむく
ころもろなり



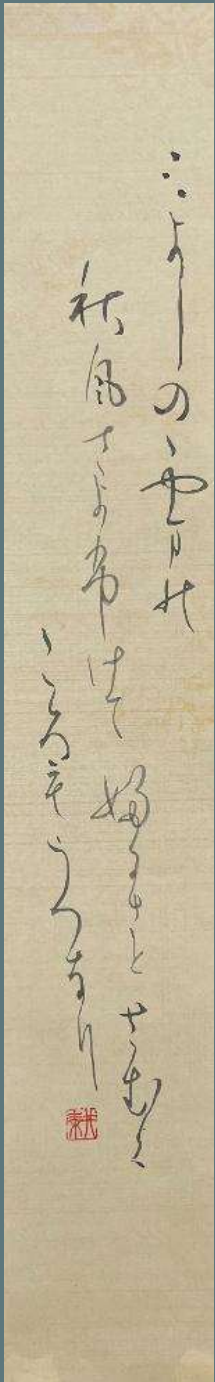
入道前太政大臣

花さそふ
あらしの麿の
雪ならで
ふりゆくものは
わが身なりけり



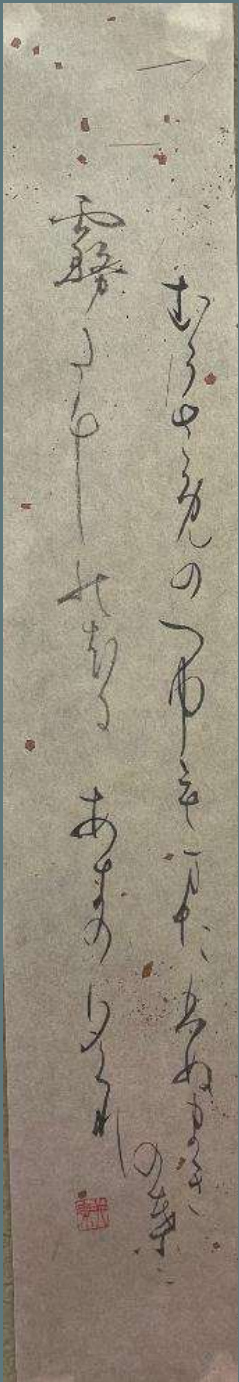
参議雅経

みよしのの やまの秋風 さよふけて
ふるさとさむくころもろなり

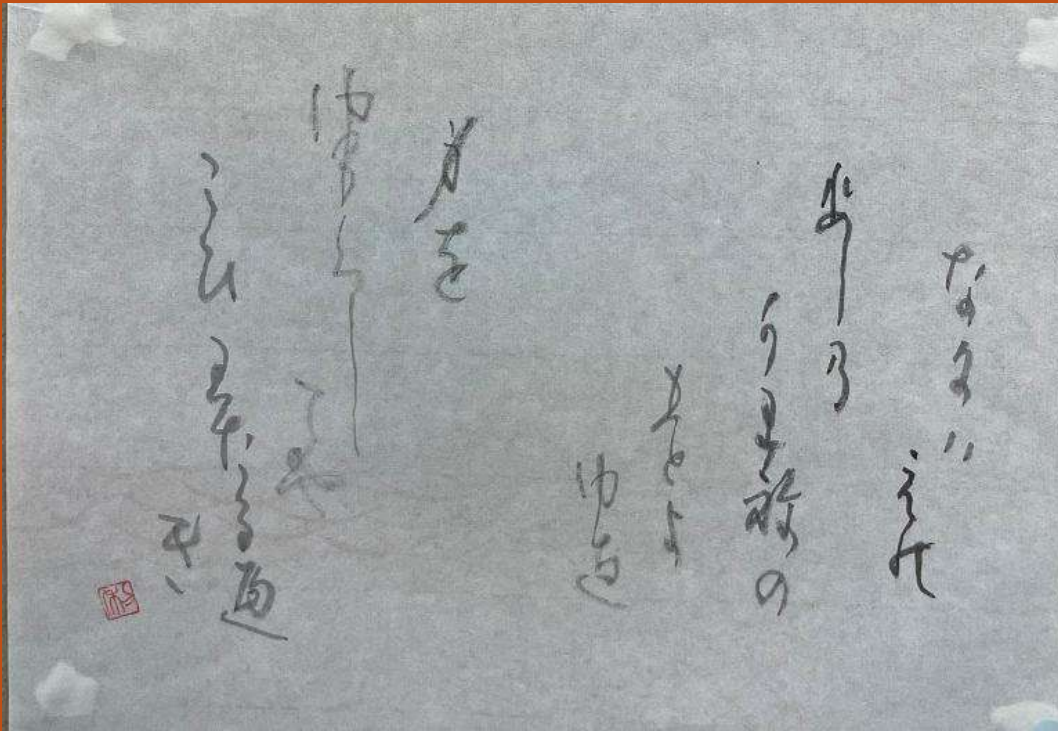


寂蓮法師

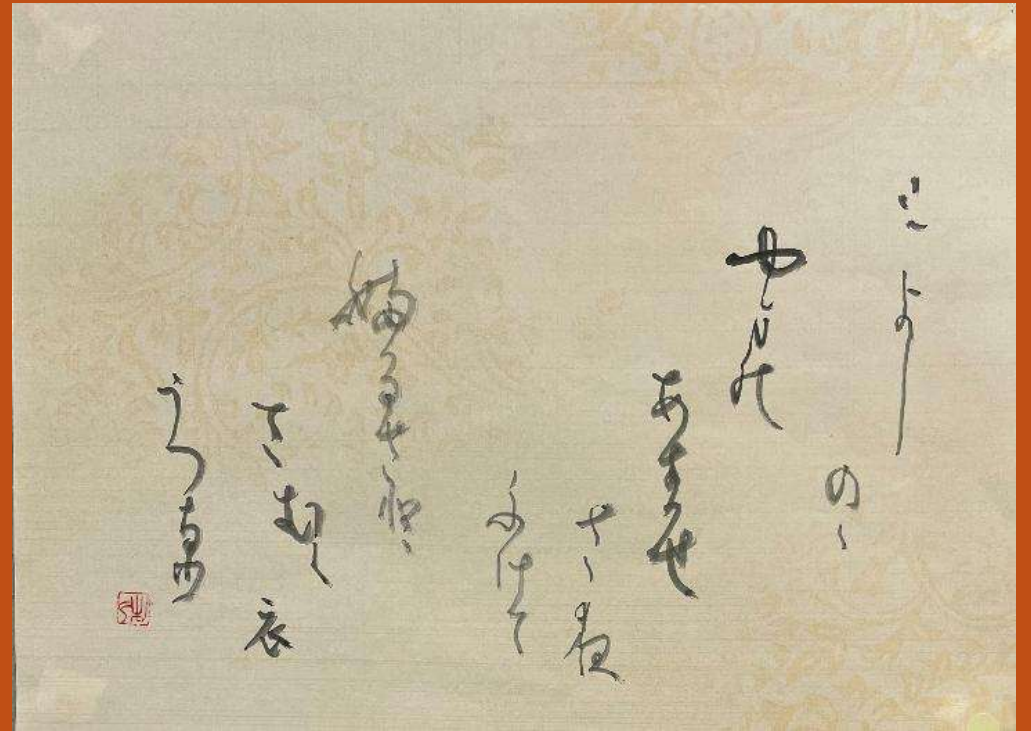
むらさめの つゆもまだひぬ まきの葉に
霧たちのぼる あきのゆうぐれ



受講者作品⑨



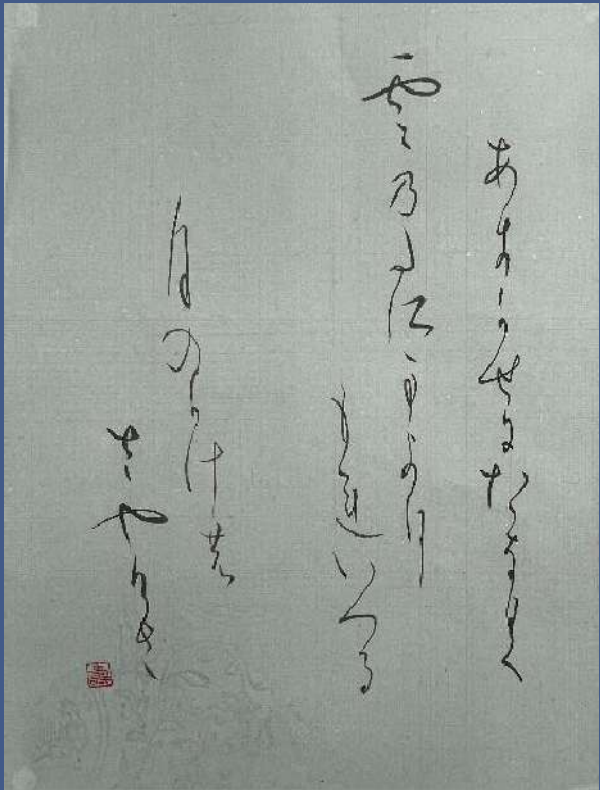
皇嘉門院別当
難波江の
芦のかりねの
ひとよゆゑ
みちくしてや
こひわたるへき



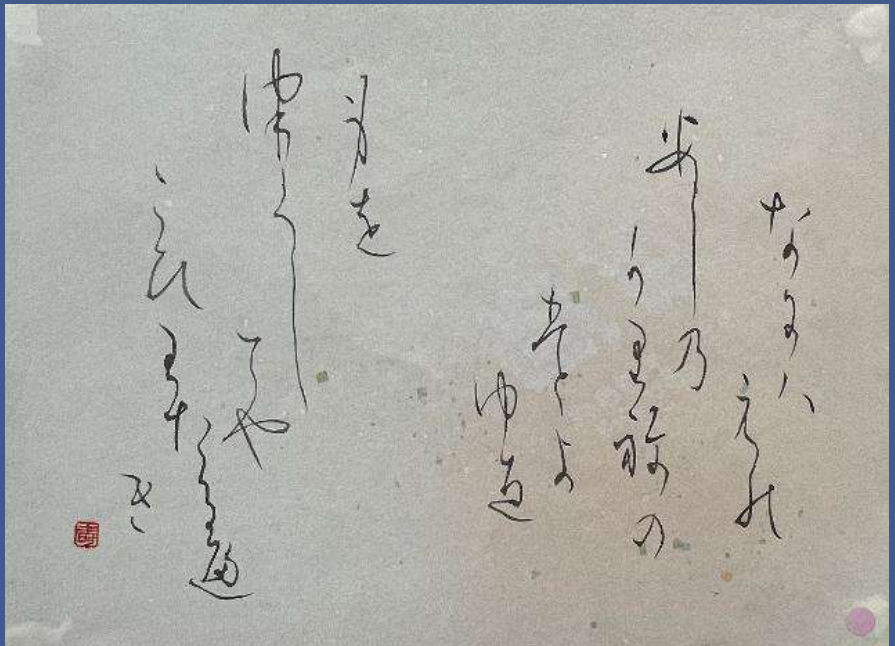
参議雅経
みよしのの
やまの秋風
さよふけて
ふるさとさむく
ころもうつなり

受講者作品⑩

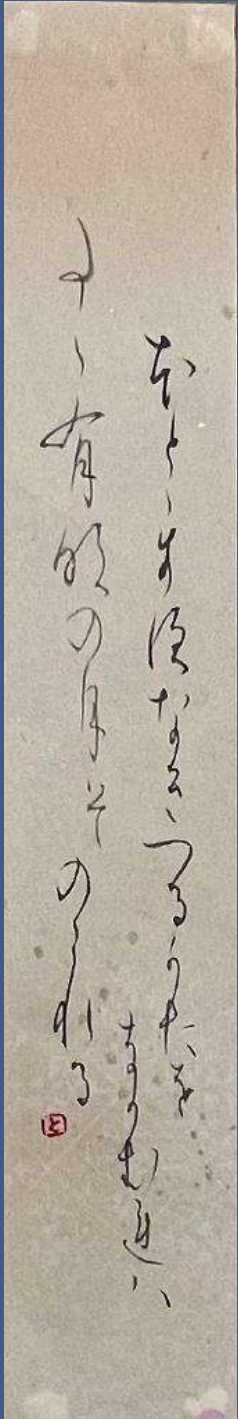
左京大夫顕輔
 秋風に たなびく雲の 絶え間より
 もれづる月の 影さやけさ



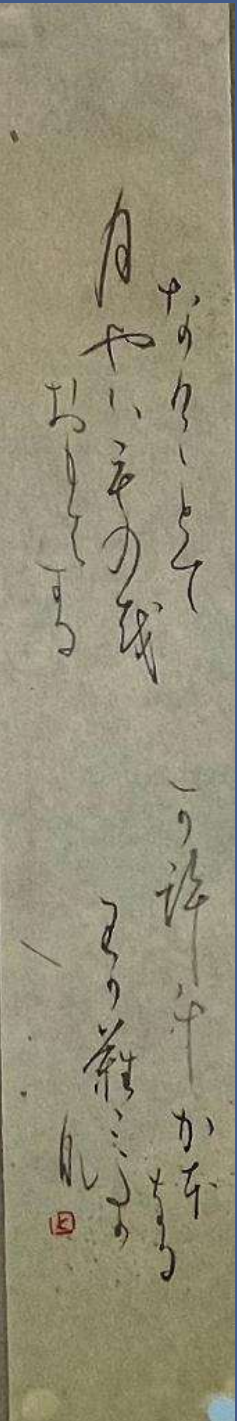
皇嘉門院別当
 難波江の 芦のかりねの 一夜ゆゑ
 身をくしてや 恋わたるへき



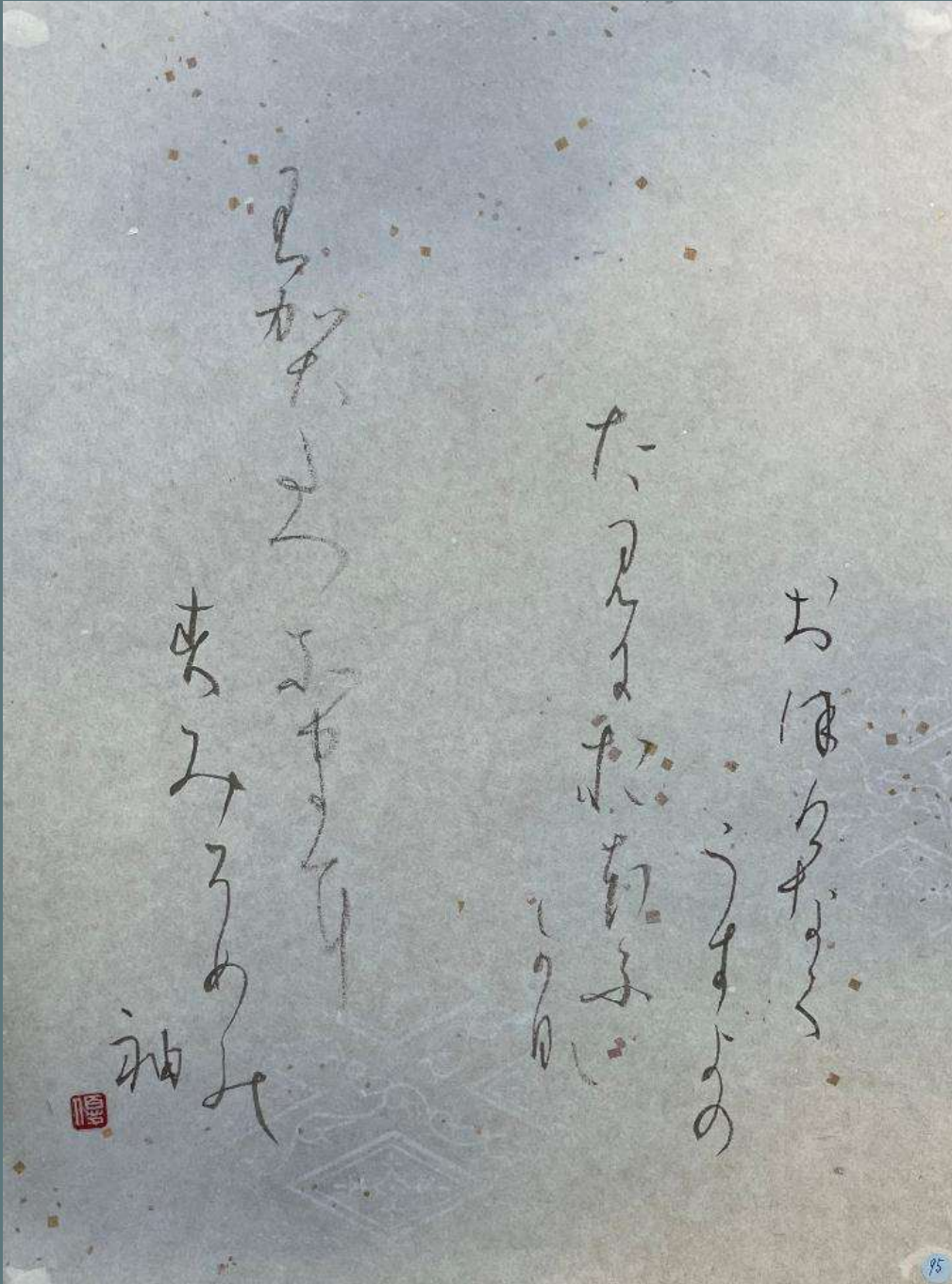
後徳大寺左大臣
 ほととぎす 鳴きうる方を 眺むれば
 ただ有明の 月ぞ残れる



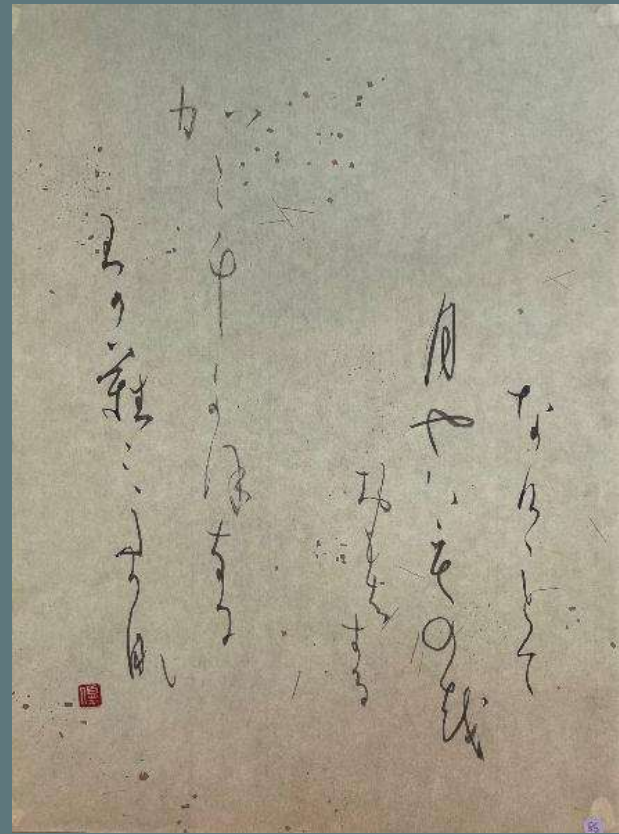
西行法師
 嘆けとて 月やはものを 思はする
 かこち顔なる わが涙かな



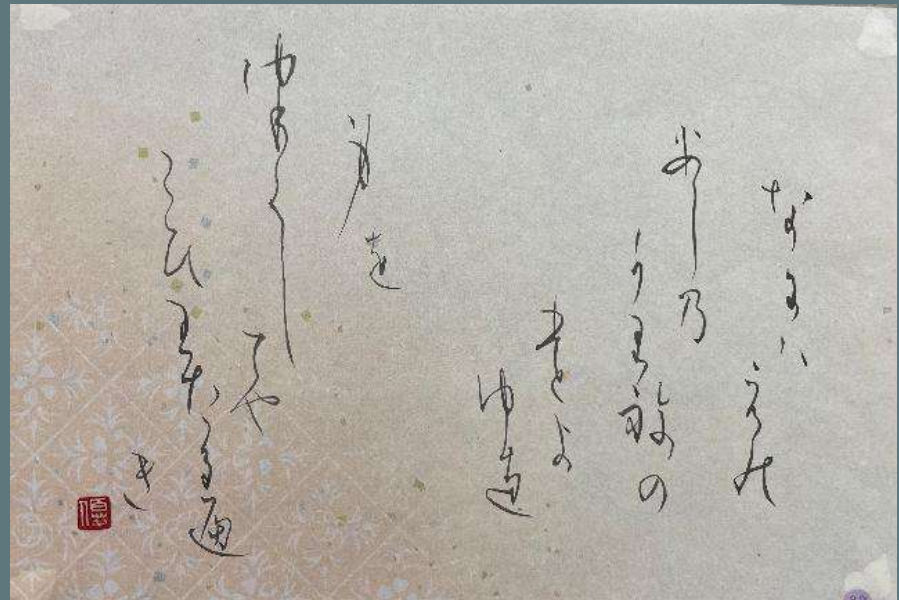
受講者作品⑪



前大僧正慈円
おほけなく うきよのたみに おほふかな
わがたちそまに すみぞめのそで



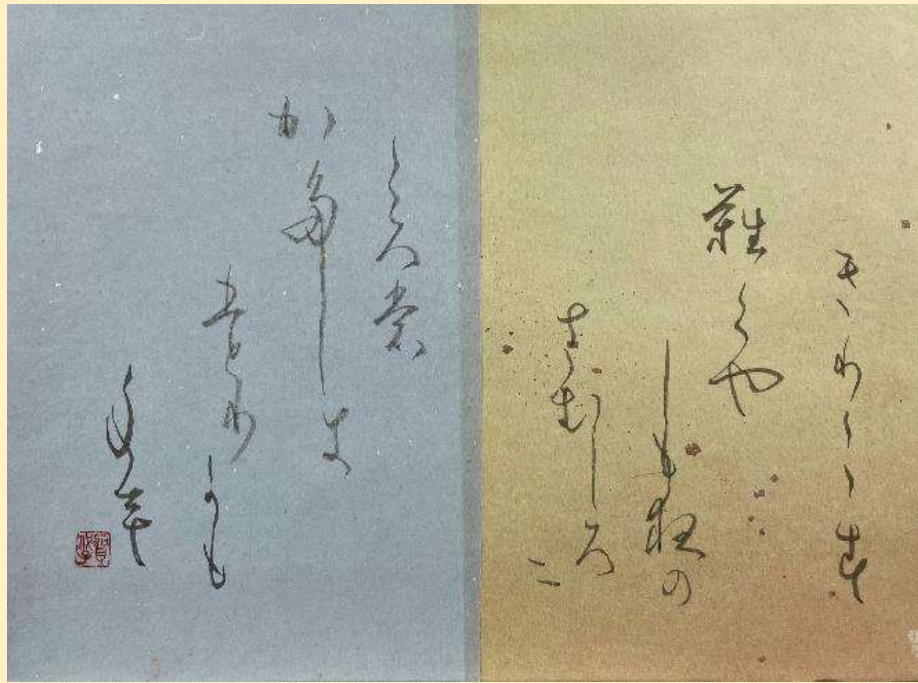
西行法師
嘆けとて 月やはものを 思はする
かこち顔なる わが涙かな



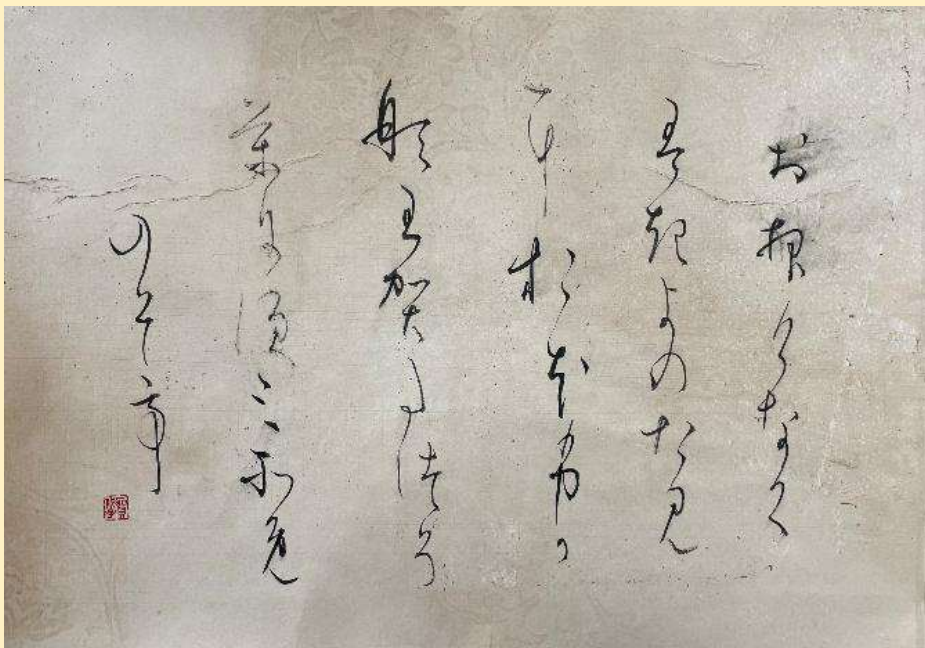
皇嘉門院別当
難波汗 昔のかりねの 一夜ゆる
身をくしてや 恋わたるべき

受講者作品⑫

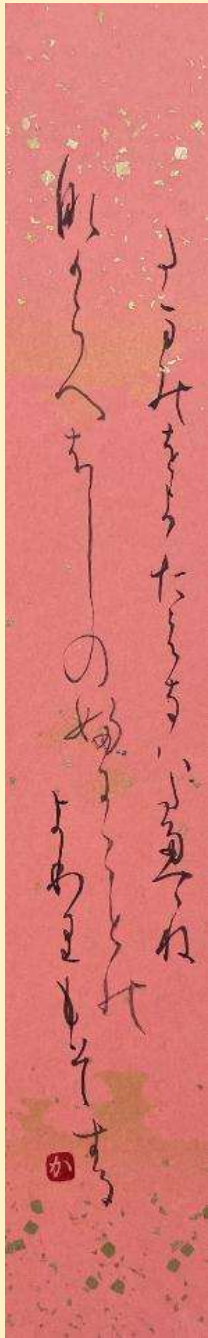
後京極摂政前太政大臣 良経
 きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしるに
 衣かたしき ひとりかも寝む



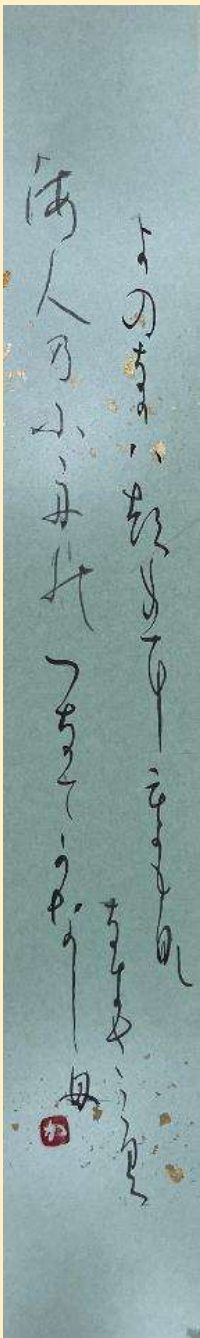
前大僧正慈円
 おほけなく うきよのたみに おほふかな
 わがちこそまに すみぞめのそで



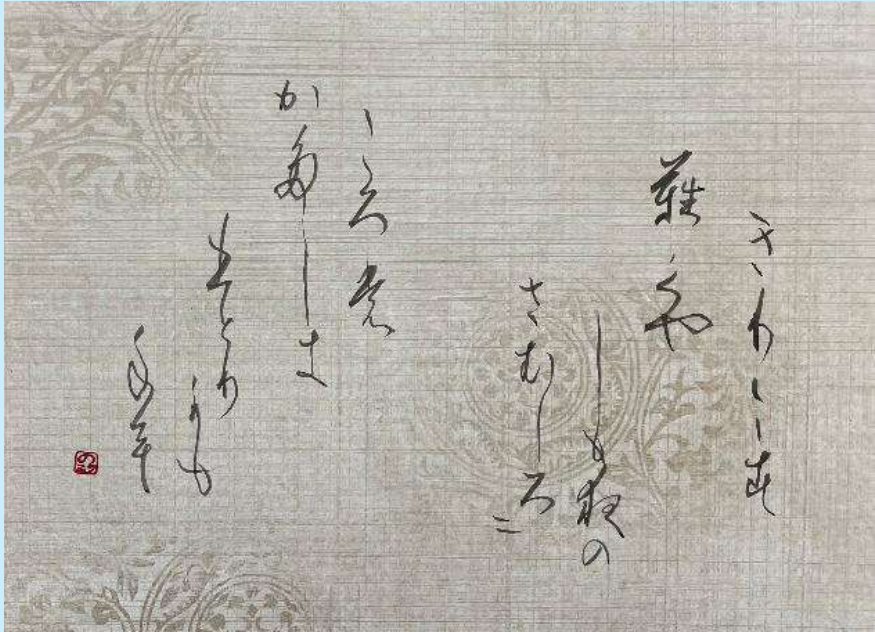
式子内親王
 たまのをよ たえなばたえね ながれば
 しるぶることの よわりもぞする



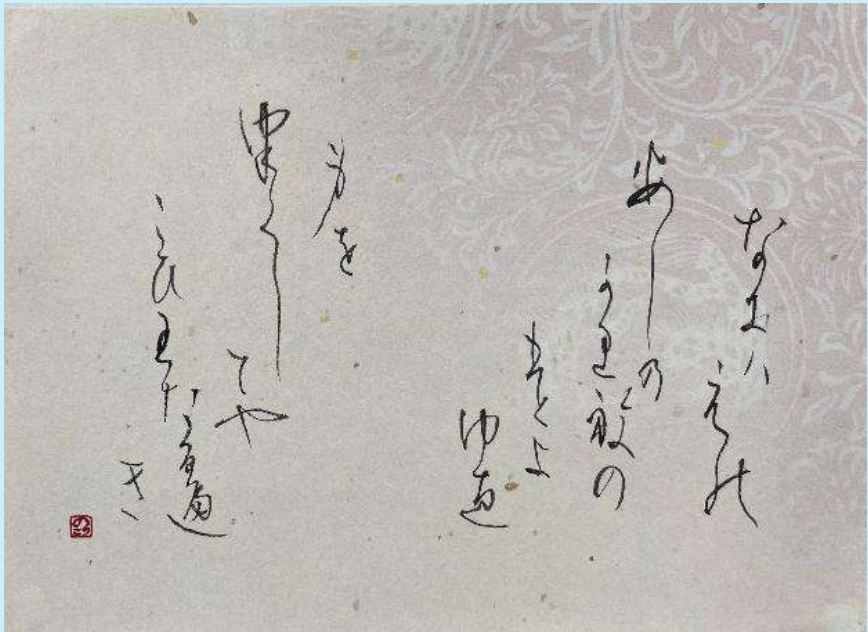
鎌倉右大臣実朝
 よあなかはつねにもがもな なぎさこぐ
 海人の小舟 つなでかなしも



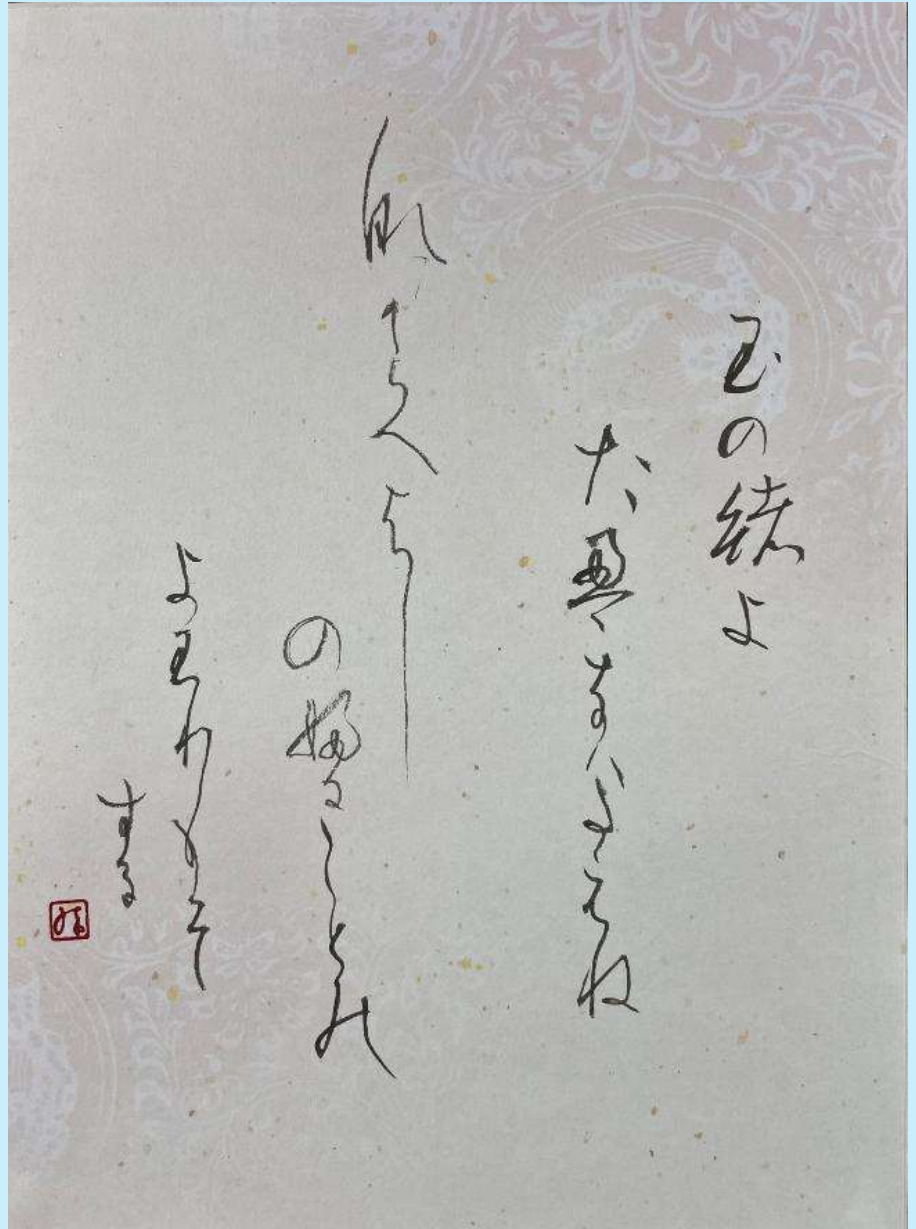
受講者作品⑬



後京極 攝政前太政大臣 良経
 きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしるに
 衣かたしき ひとりかも寝む

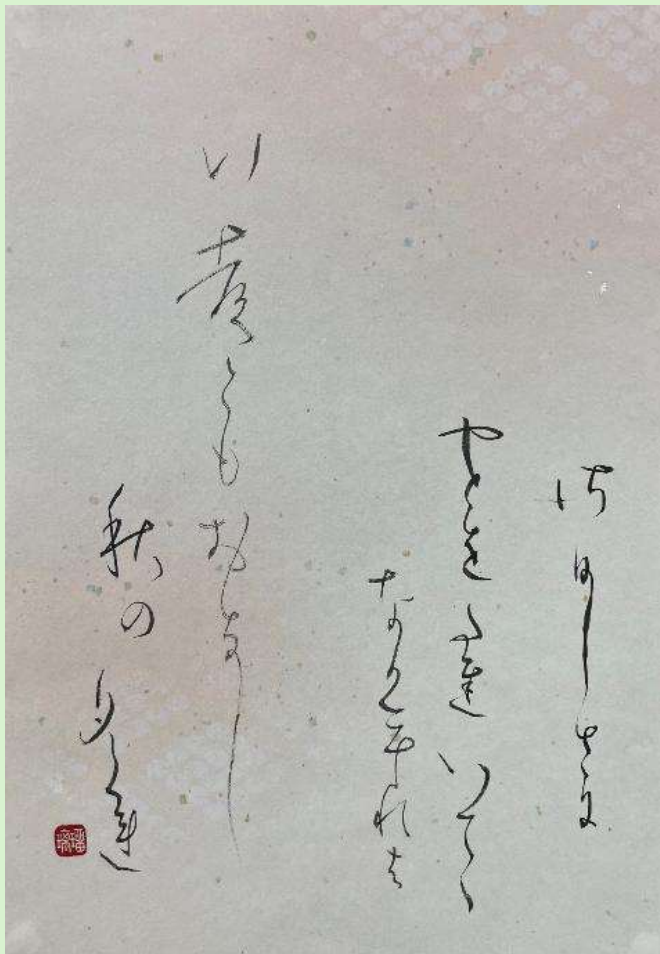


皇嘉門院別当
 難波江の 昔のかりねの ひとよゆゑ
 身をくしてや 恋わたるべき

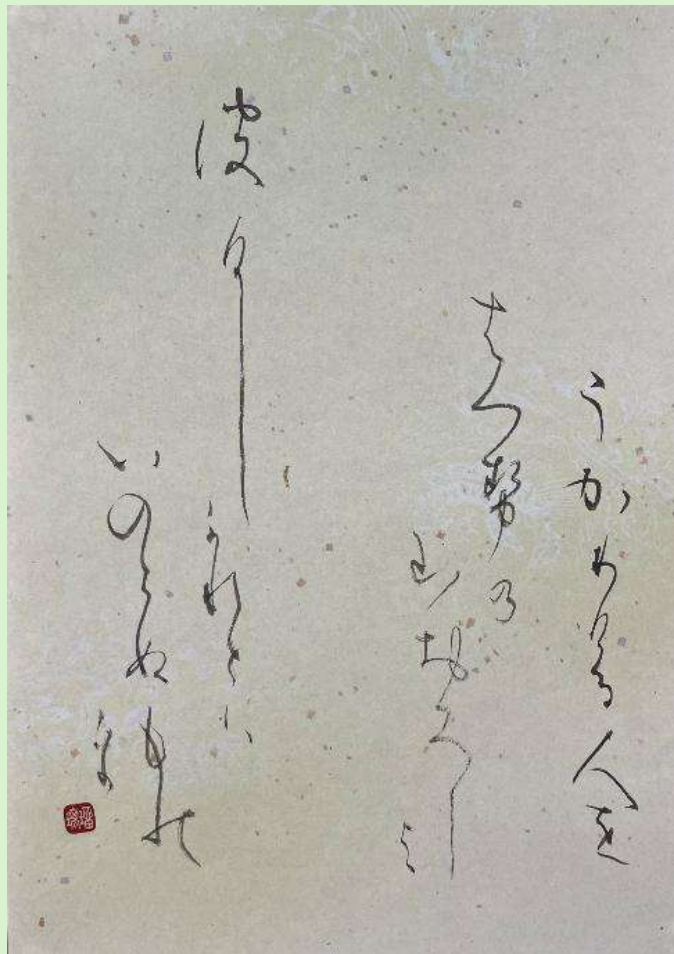


式子内親王
 玉の緒よ たえなばたえね ながらば
 しるぶることの よわりもぞする

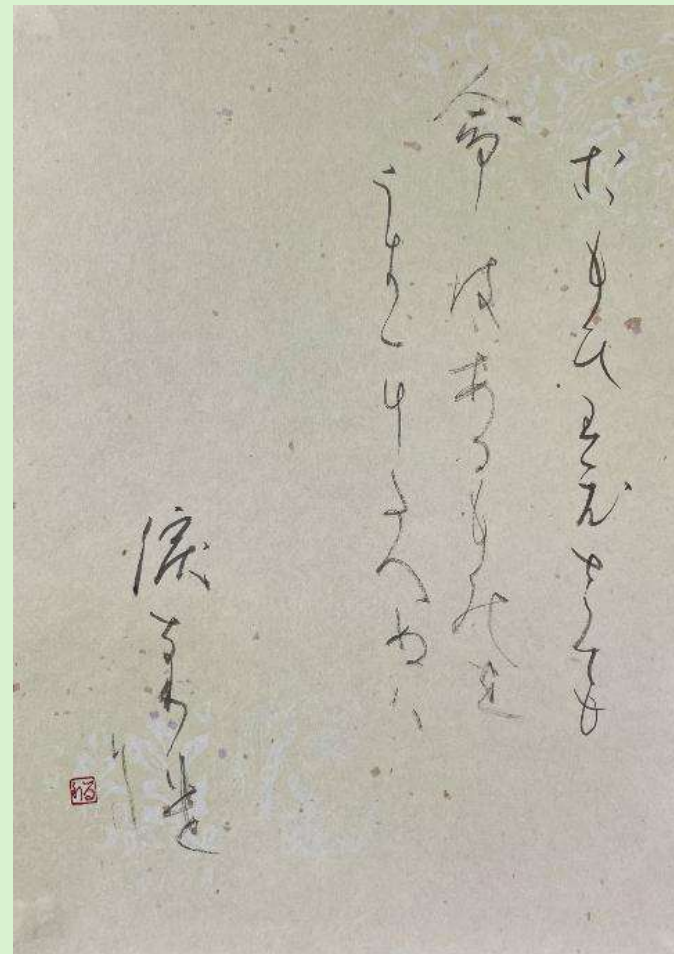
受講者作品⑭



良暹法師
さびしさに
宿を立ち出でて
ながおれば
いづこもおなじ
秋の夕暮



源俊頼
うかりける
人を初瀬の
山おろしよ
はげしかれとは
祈らぬものを



道因法師
思ひわび
さても命は
あるものを
憂きにたぬは
涙なりけり

入道前太政大臣 公経
花さそふ あらしの庭の 雪ならで
ふりゆくものは 我が身なりけり

